

参院選勝利へ新春からダッシュ

比例・大門
候補訴え

優しく強い経済へ新自由主義転換を

大阪・たつみ、京都・たけやま、兵庫・こむら候補

参院選の年、比例代表候補の大門みきし参院議員は一日、大阪・南森町交差点で、たつみコータロー選挙区候補、宮本岳志衆院議員、清水忠史前衆院議員（写真上）と、京都・八坂神社前で、たけやまさいこ選挙区候補、穀田恵二衆院議員、倉林明子、井上哲士両参院議員とともに訴え（写真中）。二日には神戸市・大丸元町店前で、こむら潤選挙区候補とともにマイクを握りました（写真下）。

日本共産党は滋賀、奈良、和歌山でも地方議員を先頭に新春宣伝を繰り広げました。いずれの箇所でも後援会員が近畿民報などを配布、有権者に新年のあいさつを行いました。

●政権交代の足掛かりをつくろう

大門さんは、大丸前の宣伝で一日付「しんぶん赤旗」に掲載された志位委員長と本田由紀東大教授との対談を紹介しながら「人にやさしい経済こそ強い経済であることは、コロナパンデミックでも証明された。人に冷たい新自由主義の転換を」と強調。「新自由主義の転換は、国の政治の大本を変えること。参院選で政権交代の足掛かりをつくろう」と訴えました。

●何としても国会へ

大阪・たつみ候補は、「森友」問題の真相究明を求めた裁判を国が強制的に終わらせたことを批判。「国会での究明が必要。必ず国会に戻って政治の私物化を許さない」と決意を表明。京都・たけやま候補は、長岡京市議として住民と力を合わせ、中学校給食を実現したことを紹介。

「全力であなたの声を届けます。国会に駆け上がらせてください」。兵庫・こむら候補は、絵画やバリ舞踊の講師をしてきたことを紹介し「文化・芸術は人を豊かにする」とし、そのためにも平和を守ることを力説。改憲が争点となる参院選での勝利を訴えました。



22近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 1 (2022.1.3)